

「子どもが夢中で手を挙げる算数の授業」をアフリカ・ルワンダへ

ICT 教材で教育の質改善に貢献

国際協力機構(JICA)は1月20日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社さくら社(東京都千代田区、横山 駿也代表取締役社長)が提案する「初等算数教育へのICT活用による教育の質向上を目的とした案件化調査」(ルワンダ)を採択しました。

ルワンダ国では、教育へのアクセスが改善され就学者が急増している一方、学習環境整備や教員の数・配置・能力が追い付いておらず、進級率の低さや中退率の高さが指摘されるなど、教育の質の改善が急務となっています。

さくら社の提案製品であるICT教材「Interactive Mathematics」(日本語名:「子どもが夢中で手を挙げる算数の授業」)は、日本の優れた小学校算数の指導内容と指導方法を基に、きめ細かく小单元ごとにソフトウェア化したものです。丸暗記ではなく、動き・音・操作を豊富に取り入れて体感しながら学ぶことを可能にし、反復練習を通じて知識の定着を実現します。本教材の授業への導入で、教員の授業力向上にも寄与します。



同製品は ABE イニシアチブでも注目を集めた



アフリカの子どもたち(小学1年生)も夢中

本案件化調査では、同国の学校教育関係者への紹介や、製品導入の実現可能性の調査を行うとともに、提案する ODA 事業やビジネスモデルの実現可能性を明らかにしていきます。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2015年度第2回公示の採択結果について

URL : http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 海老沼(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail : pdvfs@jica.go.jp